

TwitterやYouTubeで、動画にして投稿する宣伝用ボイス。

そのため、頭の空白は他のトラックより短く、一秒程度にする。

内容としては、本編よりも過去の出来事。

主人公が無事大学に合格し、はちみつ荘に入寮が決まった際のエピソード。

みつみ、はちみつ荘を訪れた主人公に挨拶をしている。

始めは管理人として、これまで他の寮生にしてきたような、真面目な挨拶をするつもりだった。

しかし、そうするうちにだんだんおかしくなってきたしまい、最後には笑ってしまう。

● 正面 30センチ

「【穏やかな、優しいトーンで挨拶と自己紹介をする。

初対面の相手を安心させるような感じで。

『はちや』と『みつみ』の間を少しだけあける。

主人公に対して『幼なじみであり恋人』ではなく『これから入居する寮の管理人』として話しかけている」

蜂谷（はちや） みつみです。

この女子寮『はちみつ荘』と、その隣の銭湯『はちやの湯』の管理人を務めています。大学合格、そして入寮おめでとうございます。

困った事があれば、何（なん）でも相談して下さいね」

〈主人公〉

「……………」

主人公、これから自分が住む寮の管理人として真面目に挨拶してくれているみつみに合わせ『こちらこそ、どうぞよろしくお願いします』と頭を下げようとする。

だが、本来とても親しい相手が、まるで初対面のようにかしこまっているというシチュエーションに、どうしてもニヤニヤしてしまう。

なので頬を緩ませながら小さく肩を震わせていると、みつみもつられて笑い始める。

● 正面 30センチ

「【こらえきれず、だんだん笑ってしまう。】

この状況はやはり面白いし、主人公もすでにニヤニヤしているの
ふ、ふ……。

【明るく、こらえきれないという感じで大きく笑う。

これまでの部分と、良い意味でギャップがある感じで。

聞いているユーザー様に『おっとり優しい系のお姉さんなのかなと思ったら、結構気さくな感じで笑うんだな』『こんな風に笑うという事は、主人公とはこれが初対面なのではなく、以前から親しいのだな』と思わせるイメージで」

……あつはは！

何（なん）か改まってみたけど、やっぱり笑っちゃうね！」

〈主人公〉

「もー！ だめじゃんみつみ姉ちゃん、笑ったら！

ふふっ、あはははっ♡」

主人公とみつみ、顔を見合わせ、お互いに身体を叩き合って笑い合う。

しかし、こうして寮生と管理人として再会できた喜びは本物だ。

主人公は苦しい受験勉強を乗り越えて見事志望校に合格し、みつみはそれをずっと待って
てくれていた。

こんなささいなやり取りでもこんなに笑ってしまうくらい、二人は今日を楽しみにしていたのだ。

●正面 30センチ

「【明るく楽しそうに。

『もう』は、主人公の言葉に返事しているのではなく『もう面白すぎて、こられきれなかった』という文脈で言っている」

もう、だって面白くて！

【※息づかいのみ※ で表現する。

大きく息を吸って、話を戻す感じで」

……すう。

【とても嬉しそうに、とても感激した様子で。

ちよっただけ泣きそうになっている。

その位、みつみは主人公と居られる事が嬉しいので。

また、主人公の受験期間中は、会う事も話す事もままならなかったので」

……やっと一緒にいられるね。

待ってたよ……！

【ちよっと泣きそうになりつつも明るく。

管理人としても、恋人としても、改めて主人公に挨拶をする」
これからどうぞ、よろしくね！」

〈主人公〉

「……うん。わたしも待ってた。

そのために、すーんごい頑張った」

主人公が右手を差し出すと、みつみが鼻をこすって笑う。

それから、同じように右手を差し伸べてくれ……二人は新しい関係の始まりを告げる握手をした。

〈主人公〉

「みつみ姉ちゃん。

わたしこそ、今日からどうぞよろしくね！」

ここでフェードアウトして終了。